

Volume.040



徳山大学校友会誌

とくだい

発行所
徳山大学校友会

〒745-8566
山口県周南市学園台 徳山大学内

TEL&FAX 0834(28)7454

発行日

平成28年3月20日

発行責任者 國廣 憲

編集責任者 藤井 辰郎



徳山大学グラウンド風景



瀬戸内海を望むことのできるキャンパスは、季節の花に彩られて、学生に憩いを与えてくれます。春の穏やかな日には、グラウンドの側で手作りのお弁当を楽しむ学生の姿を見受けることもあります。年間何度かの雪景色はまた、いつもと違った風情を感じさせてくれます。

(撮影：中村道陽)

平成27年評議員会 開催される

平成27年度評議委員会が6月27日周南市内のホテルサンルート徳山で開催されました。まず國廣会長より、大学理事として大学の現状と課題について報告されました。このあと平成26年度事業計画・予算について審議され、承認されました。この中で井上幹事長より「本年6月1日、徳山教育財団理事長として新たに池田和夫氏が就任されました。徳山大学は6年後に創立50周年という大きな節目の時期を迎えており、本会としては、徳山大学の発展に寄与貢献するという目的に沿って、新理事長、並びに岡野学長を支援すると共に、大学の生き残りにかけて、積極的な提言を続けて参ります。それとともに、会員相互の親睦・交流のために、支部支援についても継続的に課題に取り組みながら、大学生への支援や、



地域の中でより大学が輝いていくための支援活動も行って参りたいと考えます」と活動方針が述べられました。本年度は役員評議員の改選期であり、役員では将来の運営を見越しての新役員就任がありました。

新役員（平成27年度～28年度）

- 会長 國廣 憲（1期）
- 副会長 古谷幸男（7期）
- 廣瀬孝夫（6期）
- 幹事長 井上基義（2期）
- 副幹事長 瀬川昌文（1期）
- 企画広報部 部長 藤井辰郎（25期）
- 藤井 泉（21期）
- 梅津 諒（36期）
- 佃 直人（25期）

大学支援部

- 部長 野村哲也（20期）
- 守田武史（8期）
- 原田陽一（20期）
- 坂本俊彦（17期）
- 青木大地（39期）

特別推進部

- 部長 廣瀬孝夫（6期）
- 磯村秋好（4期）
- 守田文男（7期）

- 監査 兼重宗和（1期）
- 磯村泰将（4期）

- 事務局長 中村道陽（11期）

- 次長 元山 晃（12期）

評議員会のあと引き続き行われた懇親会では、顧問の佐原昌弘先生をはじめ大学からの教職員をゲストにお迎えして、楽しいひとときが送られました。



萩往還強歩大会復活に校友会協力

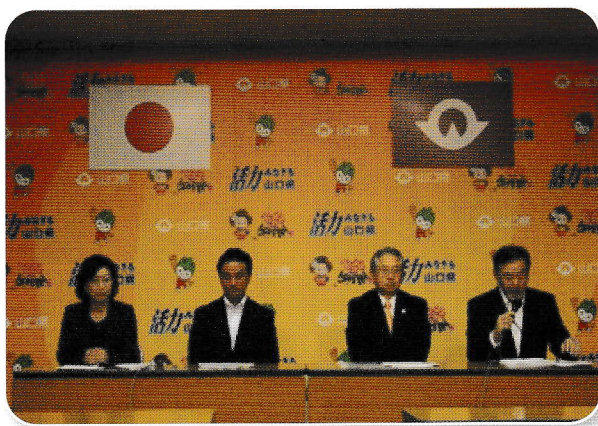
今から30年ほど前、佐藤英雄先生の指導のもと、山口県内で体力づくりや文化遺産の観点到に合う場所はないかということから、江戸時代に整備された街道「萩往還」を歩くという行事が行われました。その後、この行事は、反響を呼び参加者も増え、また徳山大学がこの行事を行うことにより、萩往還自体の知名度も上がることになり、埋もれていた文化財を地域に顕在化することにも寄与することとなりました。しかし諸般の事情により最近数年間この行事が休止されていきました。当時を知る人たちから復活の声が年々多く寄せられ、平成27年9月7日8日の両日、大学と校友会の共同開催により復活実施されました。学生の参加は25名、校友会からも大学支援部野村さんが参加し、山口市から萩市内までの萩往還を教職員・学生が1日をかけて歩きました。今回初めて体験した学生は「きつかったが、名所旧跡を訪ねながら、今まで知らなかった人とも話すことができ充実していました」と話してくれました。今回はオリゼミで利用していた秋吉台のホテルに宿泊し、萩焼作成体験など新たな試みも交え実施され、学生からは「来年も参加したいです」との声が寄せられました。



【徳山大学のいまの教育取組】

～「地（知）の拠点（COC）大学に認定される～」

徳山大学は、平成27年度文部科学省の行う大学教育再生戦略推進事業である、地（知）の拠点大学による地方創生推進事業に採択され、新たに「地（知）の拠点（COC）大学」として認定されました。これは、地域における複数の大学が、地方公共団体・企業・NPOや民間団体と協働しつつ、当該地域における雇用創出や地元就職率の向上推進をとおして地域活性化へ寄与していく事業であり、地域で活躍する人材の育成や大学を核とした地域産業の活性化等をとおして地方への人口集積を推進する事業です。本学はCOC大学の認定を受け、山口県東部地区の地域コミュニティの中核的存在として大学の機能（COC機能）強化を図り自治体と連携して全学的に地域を志向した教育・研究・地域貢献を進めていきます。今後、山口県東部地域の人口減少や域外流出を抑えていくために、新たな（ソフト）産業や商業の育成をとおして、就業の場として多様性のある、若年層に求心力のあるまちづくりのために多様な役割を果たしていくこととなります。



県庁にて村岡知事らと記者会見する岡野学長



木村周南支庁と記者会見する岡野学長

● 第1回徳山大学ホームカミングデー開催 ●

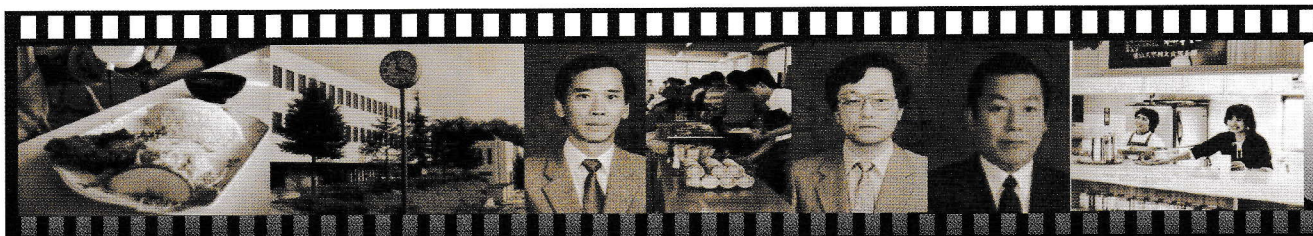
～創立50周年に向けて まず1歩 昨日・今日・明日～

【参加対象】 卒業生・在学生・教職員及び地域の皆様 **平成28年 10月29日（土）** ポプラ祭同日開催予定

ホームカミングデーは卒業生・在学生・卒業生や在学生の保護者の方・そして徳山大学にかかわりのある方と教職員との絆をふかめるため、皆様をキャンパスにお招きするものです。

内容は、現在徳大教壇に立つ先生や、かつての恩師による講演、学食や喫茶の名物メニュー再現、在学生・卒業生による音楽演奏など、懐かしい学生食堂をメイン会場に開催予定しています。詳細は後日ホームページに掲載されますので、この機会に卒業生の方は、徳山大学にお集まりください。昼間は大学で、夜は徳山の町で、旧交を温めてみられてはいかがでしょうか。

あの人に あの時にあの味に会える・・・そして今のとくだいに！

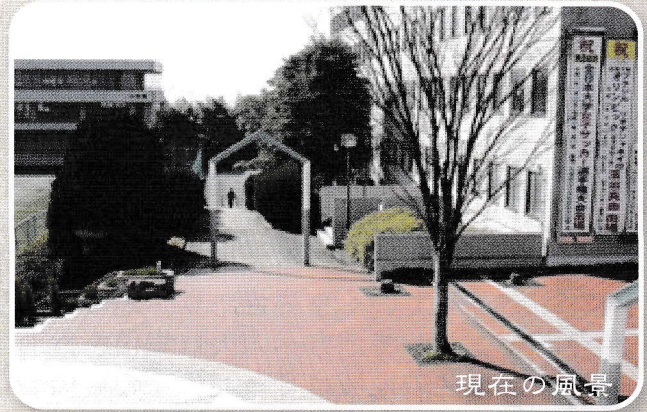


写真はイメージです

懐かしのキャンパス ~あの日過ごしたあの時を思いだしながら~



昭和50年頃



現在の風景

本館～グラウンド間広場・通路あたり

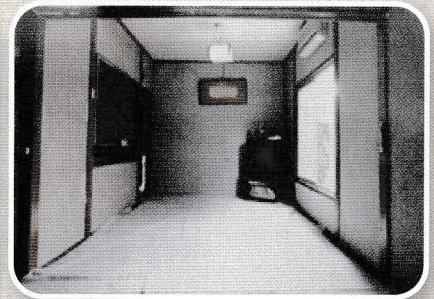
左 昭和50年当時、右は現在の学内同位置からの写真です。左の写真には昭和の匂いがこもっているように感じます。



城ヶ丘寮



城ヶ丘寮はその名のとおりに大学から最も近い学生寮で、昭和51年から平成8年まで運営されていました。4.5畳、風呂、トイレ共同で30人が生活をしていました。



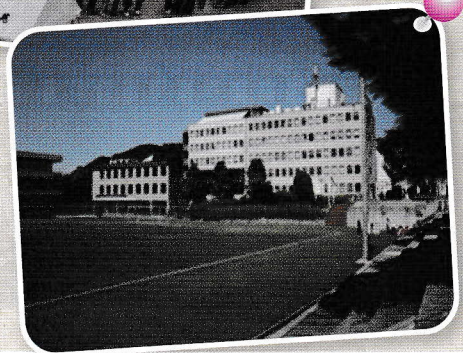
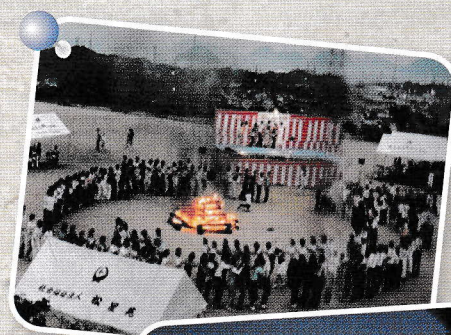
学生食堂

食堂写真はいつも反響をいただいています。逆に当時ほかに休む場所がなかった。唯一の憩いの場でもありました。

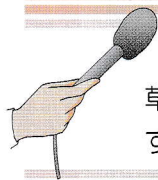


大学グラウンド

現在グラウンドは人工芝が張ってありますが、かつては大学祭のメイン会場として、エンディングにはファイヤーストームを囲んでレクレーションが行われていました。今は体育の授業の他、サッカー部ラグビー部が練習しています。懐かしいですね。



● とくたい 恩師インタビュー ●



前回に引き続き、恩師のインタビューをお届けします。創立から46年を経過した徳山大学は、草創期の先生方も少なくなりました。あと2～3年で創立時からの先生はすべて定年退職されます。草創期を知るおふたりの先生に当時の思い出と今の思いをお伺いしました。



中光義亮 先生

● 先生の簡単なプロフィールをお聞かせください。

徳山大学在学中に国際ロータリー財団奨学生として米国、アリゾナ大学へ留学。アリゾナ大学大学院修士課程（英語教育学）を経て、1987年に徳山女子短期大学講師となりました。17年間短大で教えた後、2004年に福祉情報学部の教員となり、現在に至っています。

● どのような思いで本学の学生を指導してこられましたか。

私自信が、恩師水野先生に大変厳しい中にも優しく指導を受けたことが強く印象に残っています。一步でも恩師に近づけるような教員を目指したいと思ってやってきました。

● 思い出されるエピソードなど教えてください。

徳山大学での非常講師時代にスピーチコンテストに出場する学生を指導しました。あの頃の教れば教えるほど食いついてきましたが、最近は英語嫌いな学生が増えているので残念に思います。

● これからの思いを教えてください。

アメリカ留学時代に学ぶ厳しさと努力の大切さを知り、それを本学学生にも常に学んで欲しいと思っています。学生は限りない可能性を持っていると思うので、在学中に目標を立て、どんどん新しいことに挑戦し、最大限の努力をして目標を達成して成長して欲しいと思います。これから日本人はこれまで以上に英語力が必要になってくるので、厳しい中にも英語を好きになってもらえるような指導を心掛けたいと思います。

—ありがとうございました—

● 先生の簡単なプロフィールをお聞かせください。

昭和54年4月副手として本学に就任しました。その後、体育教員としてまた、柔道の指導者として、本学ひとすじにこの道を務めてきました。

● 先生は体育教員で就任されましたが、当時は山下泰裕さんと共に誰もが知る日本を代表する柔道家でしたが何かエピソードはありましたか？

いろいろなことがありましたが、本学関係では初出勤の日に校風寮（当時の柔道部寮）から、町の様子を知るために歩いて大学へ通勤していたところ、パトカーが急に横に止まって「吉岡先生でいらっしゃいますか」と声をかけられました。

そして、「よかったですどうぞ、大学までお送りします」と言われ、初日はパトカーで出勤となりました。今では、考えられないことですが、警察の方があまりにも勧められるので乗せていただきました。

● 先生の存在を物語るエピソードですね。その後印象に残る出来事は何でしょうか。

私が就任し、当時は男子を指導して、活動も本格的になり、成績も上がっていきました。その後女子強化にも務め現在は主に女子の指導を行っています。就任当時、すぐに学生部の主事となり、学生指導を行い学生相談室を立ち上げるために東京にも何度も研修に向かいました。その成果もあって手厚い学生相談体制が整えられ、その分、夜中に学生を引き取りに行くなど、やんちゃな学生も多かったですが、人間味のある学生の多い時代だったと思い出されます。

● 先生も今年で還暦をお迎えになりますが、今後目指しておられることなど教えてください。

大学の教員としても縦仕上の時期となりますが、2020年のオリンピックに向けて全柔連の特別委員長を務めており、東京オリンピックを成功させることが、本学や柔道をしてきたことへ対する恩返しになるかなと考えています。

—ありがとうございました—



吉岡剛 先生

◆とくだいインフォメーション◆
平成二十七年入学式挙行される

平成27年4月2日、平成27年度徳山大学入学式が記念館で挙行されました。今年度入学生は294名で昨年度を大きく上回りました。学長の式辞の後、新入生代表宣誓では経済学部ビジネス戦略学科、喜連川朱音（きれかわあかね）さんが「本学の「知・徳・体」一体の教育理念を礎とし、勉学や諸活動に励みたいと思います」と宣誓を行いました。

この後、来賓としてご出席いただいた周南市木村健一郎市長、周南市議会米沢痴達議長、徳山商工会議所小野英輔会頭より祝辞を賜りました。式の締めくくりとして吹奏楽団の生演奏による校歌斉唱が行われ、粛々とした感動の中、終了しました。入学式のあとは保護者の方への大学生活に対する説明会が行われ、その後、学生食堂周辺では校友会の協賛による、新入生歓迎のさくらまつりが開催されました。この祭りではお茶席や、学生サークルによる徳山大学オリジナル珈琲の無料試飲会、さらには餅まきなど行われ、歓迎ムードも最高潮に達しました。今年は入学式の日が、学内の桜も開花のピークを迎え、満開の桜に包まれた学園のキャンパスは、この日新入生の晴れの門出を祝うムード一色に包まれました。



本学記念館にて挙行



代表宣誓を行う喜連川さん

徳山教育財団新理事長 池田理事長就任



学校法人徳山教育財団では平成27年5月28日開催された第209回理事会において、新理事長に池田和夫理事を選任しました。

（任期 平成27年6月1日～平成28年5月28日）

EQトレーニングⅡ実施される

平成27年度のEQトレーニングが4月5日より7日までの2泊3日で国立山口徳地青少年自然の家で行われました。以前はこの時期に合宿形式のオリエンテーションセミナーが秋吉台で行われていましたが、現在は授業としてEQトレーニングが実施されています。

EQ教育は、行動学科や心理学をベースに開発した診断やトレーニングを通じて「自立した一人の人間として社会を生きていく力、すなわち、人間力」を育てることを目的とする本学独自の教育プログラムのひとつです。このプログラムを通じて、コミュニケーション能力や、課題解決能力、リーダーシップといったことを学び身につけることができます。毎年4月のこの時期に、EQトレーニングの基礎であるEQトレーニングⅠを1年生が履修し、同時にその応用編としてのEQトレーニングⅡを2年生以上がスタッフ・リーダーとして学んでいます。EQⅠ・Ⅱを通じて、学生が人間関係を広げる姿が多く見受けられることも、このプログラムの特色のひとつと言えます。

時局講演会が開催される



平成27年6月5日（金）徳山大学301教室にて徳山大学シニア会（退職教職員会）主催による講演会が開催されました。講師は佐原昌弘先生のご紹介で駐日本国アフガニスタン大使の高橋博史氏をお招きすることができました。

「日本にとってのアフガニスタン」と題して歴史的背景を含め現在までの日本とアフガニスタンの関係について講演されました。集まった約100名の聴衆は、実体験に基づく貴重な話に聞き入っていました。

福祉入門で学内のバリアを調査発表



平成27年6月30日徳山大学1121教室にて行われた福祉入門（担当・井上浩教授）の授業において、学内のバリアフリーの課題点についての調査発表が行われました。

発表はグループに分かれて学内の各教室の課題点について説明されました。学長や教職員も発表を聞き、今後の学内の改善にも貴重な意見が出された発表会となり、早速提案された中から施設の学内表示などについての改善が取り組まれました。

祝 リオデジャネイロオリンピック出場
テコンドー57キログラム級 濱田真由選手



テコンドー・女子57キログ級の濱田真由さん（経済学部2年）は、メキシコで開催された「テコンドー・世界グランプリファイナル」に出場し、初戦で敗退となったものの、この大会終了後の世界ランキングで6位以上が確定したため、五輪の出場が決まりました。テコンドー競技は、「グランプリファイナル終了時点でのオリンピックランキングで6位以内に入る」ことが、五輪の出場条件となっています。

濱田さんは5月の世界テコンドー選手権大会で日本人として初の金メダルを獲得するなど、この大会前までに世界ランキングで3位まで上昇。今回の敗退で1つ順位は落しましたが、6位以内を確定させて2大会連続の五輪出場を掴みました。本学在学生のオリンピック出場は初の快挙であり、大舞台でのメダル獲得へ向けての活躍を期待したいと思いま

す。
○ブラジル・リオデジャネイロオリンピック日程
平成28年8月17日（水）～20日（土）
○濱田真由・プロフィール
平成4年1月31日生まれ（21歳）・佐賀県出身
山大学経済学部2年
☆全日本テコンドー選手権大会
優勝（2011～2015）
世界テコンドー選手権大会
優勝（2015）※日本人初優勝

女子サッカー部全日本でベスト4

本学女子サッカー部が、第24回全日本大学女子サッカー選手権大会においてベスト4という好結果を残しました。2回戦は順天堂大学を相手に2対1で勝利、続く準々決勝は武庫川女子大学と対戦し2対1で勝利をおさめました。準決勝では健闘しましたが、強豪神奈川大学に敗れました。結果として、優勝早稲田大学、2位神奈川大学、3位日本体育大学、4位徳山大学となりました。本学運動部団体競技の全国大会における成績は、これまで剣道部が全日本大学選手権3位になりましたが、これに次ぐ高成績を残しました。監督との信頼関係も強く、チームワークも非常に良い女子サッカー部なので、今後の活躍をますます期待したいと思います。



が、強豪神奈川大学に敗れました。結果として、優勝早稲田大学、2位神奈川大学、3位日本体育大学、4位徳山大学となりました。本学運動部団体競技の全国大会における成績は、これまで剣道部が全日本大学選手権3位になりましたが、これに次ぐ高成績を残しました。監督との信頼関係も強く、チームワークも非常に良い女子サッカー部なので、今後の活躍をますます期待したいと思います。

神康守先生 退職される



本学で長く教鞭をとられた神康守先生が今年3月をもって退職されました。神先生は昭和51年に本学に就任以来40年にわたり、体育教員として、そして剣道部の監督として指導にあたって

こられました。先生の今後のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

ポプラ祭開催される

平成27年10月31日、11月1日の2日間ポプラ祭が晴天のもと開催されました。この「ポプラ祭」天高く伸びていくようにとの願いを込めてポプラ祭と命名されたのですが、現在のキャンパスには創立時に植えられたポプラの姿は台風などにより残念ながら見ることができません。しかし、今年も、大学祭を盛り上げていく気概をもった実行委員会のメンバーにより、多彩な企画や催しで多くの学生や地域の方でにぎわいました。次年度はホームカミングデイも開催されます。是非この機会に母校へ足をお運びください。



おたよりコーナー

一校友会にお寄せいただいたお便りをご紹介しますー

● 3期 田布施町在住 徳元 淳良さん

会誌毎回楽しく読ませていただいています。早いもので就職した職場も辞めて第2の人生を楽しんでいます。この間、子供も大学も学ばせて頂き、私も含めて、12年間お世話になり、この間2年いや3年間役員をさせていただきました。この会誌を見るたびに昔の友のことを思い出します。これからも昔の事も比較した今昔物語的開始であると楽しいかもしれませんね。今後ますます山口県の大学として発展する徳山大学であるようお祈りいたします。

● 5期 岡山県在住 藤原 英昭さん

毎回、校友会誌を送付して頂き本当にありがとうございます。校友会誌が送付されてくる度に入学当初から卒業までの事を思い出します。なかでも2年の時にボブラ祭で熊野秀樹執行委員長からオリエンテーリングを企画してもらえないかと依頼され熊毛郡大和町（現光市）で開催したこと。また、翌年には、頓宮究執行委員長から何かイベントをしてもらえないかと依頼され、教室を借り喫茶店とSLの写真展示開催したのが鮮明に思い出されます。

また、当時、今田竹千代学長の講義で「ドイツのヒットラーの演説を直に聞いた」と講義されたのが記憶に残っています。私は、卒業後、地元に戻り公務員として就職し、今年36年目、あと1年半で定年となりますが、「誇りと使命感」を持って最後まで頑張りたいと思っています。

● 8期 福岡県在住 北原 祐治さん

校友会誌をいつも懐かしく読ませていただいています。今回、草創期を知る先生方の記事に懐かしい先生の名前を見ました。兼重先生は当時、教職課程を履修していた私にとってよき兄貴だった先生です。

井上先生との授業を懐かしく思い出します。兼重先生とは、私が3年、4年と2年間、教職課程を履修していた有志で、夏休みの合宿をしていたことを思い出します。（今はどうなのかな？）3年の時は、長門の薬師寺というお寺で4年の時は萩の民宿だったと記憶しています。兼重先生に是非聞いてみてください。（覚えていらっしゃるとおもいますが・・・）

佐藤先生は、直接授業を受け持ったことはありませんでしたが、バスケット部に友達がおりました（当時日下寮・・・今はもういないのかな？）佐藤先生の厳しい指導を受けていたそうです。私も高校時代バスケットをやっていましたが、膝を痛め、断念していたため、大学ではバスケットはしていません。そうそう、私は1年の時は楠寮にいました。今はありませんが・・・学食のおばちゃんの写真懐かしかったです。見覚えのある顔が数人いらっしゃいますよ。私たち8期生にもいまだに年賀状のやり取りをしている、友達も数人います。一度、集まろうといいつつ、なかなか実現はしていないのですが、これを契機にみんなに連絡をとってみようと思っています。実現しましたらご連絡いたします。また、現在勤務している会社には先輩を含め大学出身者が5人います。どんどん発展していく母校を誇らしく思いますし、益々発展することを祈念しています。

編集部より みなさま、お心のこもったメッセージをいただき、ありがとうございました。

《プレゼントコーナー》～山口県名産品～



① 瀬祭 純米大吟醸
磨き2割3分・・・1名様

② 山縣本店（徳山）
焼酎2本セット（米・芋）・・・2名様

③ グルメロード安田（下松）
ハム・ウィンナーセット・・・2名様

プレゼント希望の方

希望商品、氏名、年齢、住所、電話番号、会誌へのご意見・ご感想をお書き添えの上、

郵送の場合

〒745-8566

山口県周南市学園台 徳山大学校友会

Eメールの場合

kouyukai@tokuyama-u.ac.jp

ご送付ください。

※ご意見・ご感想は、誌上・HP上で掲載されることがありますので、予めご了承ください。また、個人情報については、事務連絡のみに使用させていただきます。

住所変更等について

お問い合わせ (0834)28-7454

卒業後の住所変更について

お問い合わせ
Contact Form



校友会では卒業生の皆様の住所変更等についてホームページから手続きができます。徳山大学のホームページから「卒業生の皆様へ」のタブを押し、「徳山大学校友会」のバナーを押していただくと上記のバナーがありますので、ここをクリックしてください。

編集後記・お礼

いつもお便りの温かいお言葉には強く励まされます。これからも校友会の活動をお見守り下さい。

一編集スタッフ一

企画広報部長 藤井辰郎（25期） 中村道陽（11期）
藤田美恵（事務局）
印刷・デザイン 東洋印刷 協力 徳山大学